

視覚障害理解深めて 橋

まゆだまネットが催し 前

視覚障害者を支援する「まゆだまネット」が23日、県社会福祉総合センター(前橋市)で開かれ、



障害の有無を問わず楽しめる 百人一首の体験コーナー

訪れた人がさまざまな企画を体験しながら理解を深めた。

県視覚障害者等支援ネットワークの「まゆだまネット」が主催し、22団体が参加。難病に関する情報発信や生活を便利にする機器の紹介、障害の有無を問わず楽しめる百人一首や将棋、卓球の体験コーナーなどが設けられた。会員の3分の2が視覚障害者という具鍼灸マッサージ師会は、マッサージの無料体験を通じて仕事内容を紹介した。

県立点字図書館(同)と話をした。

(林花野)

市)の細川智子館長は「視覚障害のある方へ直接情報を届けることは難しい。活動を多くの人に知ってもらい、身近で困っている人がいたら声をかけてほしい」と話した。来場した石井建司さん(30)は「同市敷島町」は「一緒に遊べる遊びや、サポートする方法を学べ